TGR TEAM KeePer CERUMO

2026 AUTOBACS SUPER GT Report

MOTEGI GT 250km RACE GRAND FINAL

第8戦　モビリティリゾートもてぎ

KeePer CERUMO GR Supra

#38 大湯都史樹／小林利徠斗

◆11 月 8 日（日）　QUALIFY / RACE

予選結果　8 位

決勝結果　4 位



11 月 7 日（土）にモビリティリゾートもてぎで行われた第 3 戦では、公式予選からタイヤのパフォーマンス発揮に苦しみ、2025 年のような活躍をみせることができないまま、暫定 11 位でレースを終えることになった TGR TEAM KeePer CERUMO。課題解決に向けてチームは深夜まで作業を行い、一夜明けた 11 月 8 日（日）の第 8 戦に臨んだ。

今季のシーズンラストレースであり、多くのファンが訪れるなか TGR TEAM KeePer CERUMO は好結果を残すべく、午前 10 時 15 分から行われた GT500 クラスの公式予選に臨んだ。この日も変則的な 15 分のみの計時予選のスタイルで、KeePer CERUMO GR Supra は大湯都史樹をアタッカーに据えた。

大湯は KeePer CERUMO GR Supra を駆り、2 周連続でのアタックを展開していったが、ベストタイムは 1 分 37 秒 106 というもの。結果は 8 番手となった。

「前日の第 3 戦の予選よりは良かったのですが、問題が明確に解決したわけではありませんでした」と大湯が振り返るように、パフォーマンスのピークを出し切れない状態が続いてしまっていた。この状況を打開すべく、短いインターバルの中でエンジニアたちは課題解決に向けて作業を進めていった。

TGR TEAM KeePer CERUMO



公式予選終了後、３時間 30 分のインターバルで迎えた第８戦の決勝レース。KeePer CERUMO GR Supra のスタートドライバーは第３戦に続き小林利徠斗が務めた。気温 17 度／路面温度 23 度というコンディションで始まった決勝レースでは、まずは小林は８番手とグリッドどおりの順位でオープニングラップを終えたが、直後に２台の GT300 車両のストップにより、この日もレースはセーフティカーランとなった。

リスタート後、GT500 クラスはタイトル争いを展開するトップ２が逃げていく一方、３番手以下は僅差の争いとなる。小林の KeePer CERUMO GR Supra は、８番手のまま６台ほどの集団のなかで序盤戦を進めていった。

序盤は緊迫する展開のなかでレースが進められていくことになるが、13 周目には#12 Z NISMO GT500 に、14 周目には#39 GR Supra に隙を突かれ、KeePer CERUMO GR Supra は 10 番手に後退する。一方で、16 周目にはペースが落ちてきた#64 HRC Prelude-GT をかわすなど、小林はアップダウンの激しいレースを戦っていった。



そんな展開の中、19 周を終え TGR TEAM KeePer CERUMO は小林をピットに呼び戻した。他にも GT500 クラスは５台がピットに入っていたが、ここでチームは、前日から検討していたフロントのみの二輪交換という作戦を採り大湯を送り出した。第３戦でも複数チームがタイヤ交換本数を減らす作戦を採っていたが、うまくいかなければ急激なペースダウンに見舞われる。リスクもある作戦だった。

しかし、レース中盤から大湯のペースは良く、#8 HRC Prelude-GT、#12 Z NISMO GT500 と接近戦を展開しながらレースを進めていくと、全車がピットインを終えると８番手へ。さらに大湯はペースを上げ、38 周目に#8 HRC Prelude-GT をかわし７番手に浮上すると、40 周目には#14 GR Supra をかわ

し 6 番手へ。42 周目には#23 Z NISMO GT500 をかわすなどその勢いは留まるところを知らず、一気に表彰台圏内も見据えた。



ただ#23 Z NISMO GT500 をかわした直後、ヘアピンで GT300 クラスの表彰台争いの集団をかわそうとした際に、 1 台が KeePer CERUMO GR Supra のリヤにヒット。大湯はスピンしてしまった。幸いロスは最小限だったが、苦労して抜いてきた 4 台にふたたび先行されることになった。

大湯はその後もプッシュを続け、46 周目に#36 GR Supra がストップすると 7 番手に。さらに 49 周目にはふたたび#14 GR Supra をパスし、KeePer CERUMO GR Supra は最終的に 6 位でチェッカーを受け、レース後 1 台がペナルティで 40 秒加算、さらに再車検の結果 1 台が失格になったことから、KeePer CERUMO GR Supra は 4 位で最終戦を終えることになった。表彰台も可能な戦いだっただけに悔しさも残るが、攻めたレースでシーズンを締めくくり、来季の戦いに繋げた。

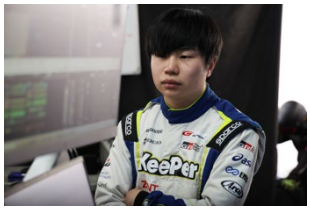
ドライバー／大湯都史樹



「終盤のヘアピンでの接触は残念でした。せっかく抜いてきたものが振り出しに戻ってしまいましたからね（苦笑）。あれがなければ表彰台に乗れたかもしれません。ただ決勝レースの僕のスティントははじめは苦戦するときもあったものの、それ以外はすごく安定したペースを築くことができました。抜いていくレースをみせることができたのは良かったですし、見せ場が作れたのではないでしょうか。この熾烈な争いのなかで、ああいうオーバーテイクができたことはすごくポジティブに捉えています。来季に向けても、このチームとして良いところ、悪いところと課題がしっかり見つかったと思います。今季はベースとして安定したシーズンを送ることができましたし、こうして上位争いができるパフォーマンスをみせられたのは良かったです。とはいえ来季に向けて、３メーカーの争いもより激しくなると思います。その中で、よりアグレッシブなレースをみせられると思っているので、引き続

き応援していただければ嬉しいですね」

ドライバー／小林利徠斗



「決勝レース序盤は前についていくことができていたものの、抜きにいく余力がありませんでした。またGT300に引っかかるタイミングで、僕のドライビングもセットアップもいろいろと噛みあわなくて、抜かれてしまったシーンがありました。純粋なペース不足が原因ではないのですが、いろいろ反省点はあったと思います。また、大湯選手に交代してからは二輪交換にも関わらずすごくペースが良かったので、何が理由なのかしっかり見直したいですね。最初からあの走りができていたのであれば、もっと良い順位だったと思うので。来季はタイヤも変わりますが、クルマやレースの構成は変わらないと思います。今季、GT500クラスで一年間戦ったことでいろいろ学んだことも多いですし、まだまだ未熟な部分も多いのですが、今後に向けて準備していきたいですね。今季はルーキーイヤーで本当に大変で、苦しいところも多かったのですが、大変さを身をもって感じましたし、このレベルの中でレースを戦うことで感じるところも多かったので、もっともっと頑張りたいな、と思いました」

立川祐路監督



「今日は公式予選では昨日から大きく状況を変化させることができず、上位を狙ったものの８番手となりました。ただ、レースではそこから追い上げようと、戦略を含めてトライを行っていきましたが、苦しい状況のなかで最大限やれることはやれたと思います。二輪交換という作戦もうまくいったと思いますし、タイヤが本来苦しくなるところを、大湯選手が頑張って良いペースで走ってくれました。ただ、今日のレースもそうですが、シーズンを通しての成績もトップを争うためには一歩足りていなかったということだと思います。来季はタイヤもワンメイクになりますし、今シーズンとは大きく変わることになります。その変化にうまく対応し、来年は最後までチャンピオンを争えるような戦いをしたいと思います。一年間、TGR TEAM KeePer CERUMOへのご声援ありがとうございました」

TGR TEAM KeePer CERUMO



TGR TEAM KeePer CERUMO

予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Time
1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	1'36.135
2	36	au TOM'S GR Supra	1'36.413
3	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1'36.458
4	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	1'36.481
5	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	1'36.634
6	14	ENEOS X PRIME GR Supra	1'36.734
7	23	MOTUL Niterra Z	1'36.851
8	**38**	**KeePer CERUMO GR Supra**	**1'37.106**
9	12	TRS IMPUL with SDG Z	1'37.212
10	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	1'37.295
11	19	WedsSport BANDOH GR Supra	1'37.535
12	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1'37.543
13	24	REALIZE CORPORATION Z	1'44.770
14	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	No Time

TGR TEAM KeePer CERUMO

決勝結果表

	Rank	Car No.	CarName	Lap	Diff
	1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	53	
	2	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	53	1.705
※6	3	12	TRS IMPUL with SDG Z	53	17.759
	4	**38**	**KeePer CERUMO GR Supra**	**53**	**22.130**
	5	14	ENEOS X PRIME GR Supra	53	24.573
※2	6	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	53	27.455
	7	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	53	33.559
	8	24	REALIZE CORPORATION Z	53	33.711
※1	9	37	Deloitte TOM'S GR Supra	53	41.676
	10	19	WedsSport BANDOH GR Supra	53	58.224
※5	11	23	MOTUL Niterra Z	53	1'01.836
	12	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	53	1'25.530
※3,4	13	36	au TOM'S GR Supra	45	
※7		39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra		失格

PENALTY

※1 CarNo.37 ペナルティストップ 5 秒「エンジン交換」

※2 CarNo.16 ペナルティストップ 5 秒「エンジン交換」

※3 CarNo.36 競技結果に対して 40 秒加算「CarNo.39 への接触違反」

※4 CarNo.36 競技結果に対して 40 秒加算「危険なドライブ行為・FCY 中 CarNo.88 への追突」

※5 CarNo.23 競技結果に対して 40 秒加算「ピット作業エリア違反」

※6 CarNo.12 訓戒「アンセーフリリース違反」

※7 CarNo.39 失格「スキッドブロック規定」違反

TGR TEAM KeePer CERUMO

ポイントランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	85
2	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	65
3	36	au TOM'S GR Supra	62
4	12	TRS IMPUL with SDG Z	57
5	**38**	**KeePer CERUMO GR Supra**	**51**
6	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	49
7	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	44
8	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	43
9	23	MOTUL Niterra Z	40
10	14	ENEOS X PRIME GR Supra	37
11	37	Deloitte TOM'S GR Supra	28
12	24	REALIZE CORPORATION Z	20
13	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	18
14	19	WedsSport BANDOH GR Supra	9